ステータス:	解決	開始日:	2018/04/18
優先度:	通常	期日:	
担当者:	n.kawauchi	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
<ul style="list-style-type: none"> Linux環境でrtmtoolsソースビルドを行うと、MANIFEST.MFファイル内のBundle-Versionは自動で更新される <p>例 1.1.0.rc4v20130124 1.2.0.v20180417</p> <ul style="list-style-type: none"> これで生成されるjarファイルのバージョンは「1.2.0.v20180417」となる（例：jp.go.aist.rtm.nameserviceview_1.2.0.v20180417.jar） <ul style="list-style-type: none"> RCP版RTSystemEditorはWindows環境上でEclipse SDKを使って生成しており、リポジトリのrtmtoolsソースを使用する このため、ソースに残っているバージョンの1.1.0が影響して、生成したeclipseが起動エラーとなる RCP版RTSystemEditorをWindowsインストーラに組込む場合は、Linux環境でビルドしたjarファイルと差替えて作成したいので、1.2.0版のjarファイルで起動OKとする必要もある 以上の状況から、MANIFEST.MF内のBundle-Versionを1.2.0へ更新する <pre>Bundle-Version: 1.1.0.rc4v20130124 Fragment-Host: jp.go.aist.rtm.systemeditor;bundle-version="1.1.0" Bundle-Version: 1.2.0 Fragment-Host: jp.go.aist.rtm.systemeditor;bundle-version="1.2.0"</pre>			

関係しているリビジョン

リビジョン 841 - 2018/04/18 19:29 - kawauchi

Version has been updated to 1.2.0 for generate RCP RTSystemEditor. refs #4519

履歴

#1 - 2018/04/20 18:21 - n.kawauchi

- ステータスを新規から解決に変更

- 進捗率を0から100に変更

[r841](#)にて対応完了。